

地域社会に根ざした環境活動と社会貢献

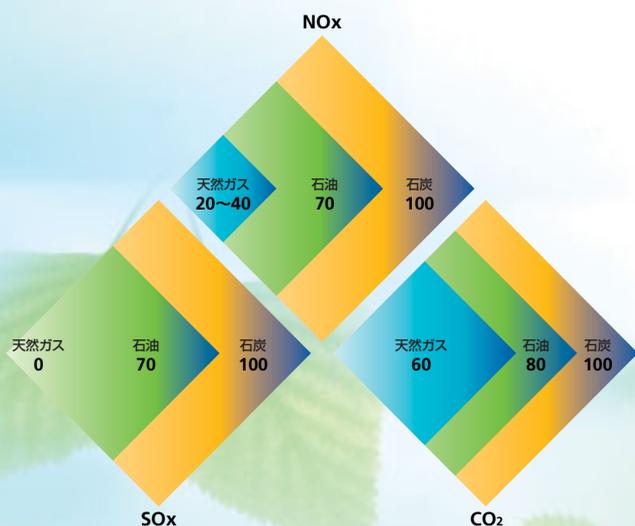
東京ガスは、環境経営のトップランナーとして、「環境に調和した資源・エネルギーの利用」を環境方針として掲げ、環境負荷の低減を目指した技術開発、資源の有効利用、情報の公開などの取り組みを行っています。また、企業市民として、さまざまな社会貢献活動にも力を入れています。

環境保全への取り組み

天然ガスのクリーン性

都市ガスの主原料である天然ガスは燃焼時に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)や、大気汚染の原因となる窒素酸化物(NOx)の排出が他の化石燃料と比較して少ないうえ、硫黄酸化物(SOx)をまったく排出しないクリーンなエネルギーです。東京ガスは、クリーンな天然ガスの供給を事業の核に、環境に配慮した企業活動を展開しています。

■石炭を100とした場合の排出量比較(燃焼時)



(出典: IEA Natural Gas Prospects (1986), Natural Gas Prospects and Policies (1991))

地球温暖化防止活動

当社は、「温暖化対策ガイドライン」を設け、事業活動での省エネルギー推進はもちろん、都市ガスをご利用になるお客さま先でのCO₂排出量抑制を目指し、活動を推進しています。CO₂を抑制するうえで大きな役割を担っているのが天然ガスによるコージェネレーションシステムです。同システムの総合エネルギー効率は70~80%ときわめて高いことからCO₂排出抑制に効果を発揮しています。

廃棄物削減とリサイクル活動

循環型社会の形成に向けて当社では、「資源循環の推進ガイドライン」を設け、事業活動から生じる廃棄物の削減活動を推進しています。オフィスのごみの大部分を占める紙ごみの発生抑制のほか、産業廃棄物の最終処分量について目標を掲げ、積極的に取り組んでいます。また、ガス導管工事などで発生する掘削残土を減らす取り組みも行っています。

お客さま先での廃棄物の発生抑制・再使用・再資源化についても積極的に進めています。ガス機器のエコデザイン(環境に配慮した製品設計)に早くから取り組み、設計段階からの排出抑制に努めているほか、ガス機器、導管材料、その他の産業廃棄物を効率的に回収し、リサイクル・適正処理する独自のシステムSRIMS(Saving Recycling Innovative Model System)を構築・運用しています。さらに、2001年4月に施行された家電リサイクル法に対応し、家庭用ガスエアコンなどを回収し、適正処理を行っています。

本社部門がISO14001の認証を取得

当社では、環境マネジメントの国際規格「ISO14001」の認証取得を進めており、これまで根岸工場など3工場と新宿・幕張の地域冷暖房センター*が同認証を取得しています。2002年10月には、本社部門が認証取得しました。2004年度末までに事業所を含めた全社での認証取得を目指しています。

*2002年7月から(株)エネルギーアドバンスとして分社



環境情報開示

当社は、環境報告書の発行や、インターネット・ホームページを通して環境情報の開示に努めています。また、環境保全のための投資額と費用額を集計して保全効果をチェックする環境会計を2000年度から導入しています。さらに、エネルギーを無駄なく上手に使っていただくための情報などを載せた小冊子「ウルトラ省エネ読本」なども作成、配布しています。

<http://www.tokyo-gas.co.jp/env/>

大気汚染防止活動

当社では、大気汚染防止のため、大気汚染の原因であるNOxの発生が少ない天然ガスの利用促進をはじめ、「NOx対策ガイドライン」を策定し、低NOx燃焼技術の開発、高効率の給湯器、コージェネレーションの普及など、さまざまな対策を進めています。特に、天然ガス自動車(NGV)は、ディーゼル車に比べNOxの排出が大幅に少ないだけでなく、黒煙やSOxをまったく排出しないクリーンな車として関心が高まっており、その普及は当社の環境保全活動の中でも重要な位置を占めています。現在、当社管内では、都営バスをはじめ約6,700台のNGVが導入されています。



NOx抑制効果の高い天然ガス自動車
(写真は都営バス)

社会貢献活動

東京ガスは社会との共生を目指し、さまざまな社会貢献活動を行っています。ここではそれらを「3つのコミュニケーション」として紹介します。

くらし文化コミュニケーション

くらしの中でも炎にかかわりの深い「食」と「住」を中心に、より豊かなくらしを提案する参加型活動で、「ミセスのためのミニ大学」、「エコ・クッキング」の推進などを行っています。このうち「エコ・クッキング」は「身近な題材で、環境問題を体験的に楽しく考える」というコンセプトのもと、買い物から料理、片付けにいたるまでの一連の流れを通して環境に配慮した食生活を提案しています。



「エコ・クッキング」

1995年より始まった「エコ・クッキング」講座は、現在まで約700回開催され、3万人以上の方が参加されています。2003年3月にはエコ・クッキングのエッセンスとレシピをまとめた本の発行や、専用サイトを開設するなど、エコ・クッキングの普及にも努めています。

環境コミュニケーション

くらしに密着した身近なところから地球環境を考え、一人ひとりの行動につながるきっかけを提供するもので、「アース・ビジョン・地球環境映像祭」、「どんぐり植樹活動」、「緑の募金」などを実施しています。「どんぐり植樹活動」は、「どんぐりを拾う」「育てる」「苗木にして山に移植する」という一連のサイクルを通して環境への関心を高めることをねらいとし、環境NPOの協力を得て1993年より続けている活動です。

次世代コミュニケーション

次世代を担う子供たちの健全な育成を主眼に、当社の知識、技術、施設等を生かした「体験の場」を提供するものです。小・中学生陶芸コンクール、サッカークリニックやガスの科学館・環境エネルギー館などの運営に加え、2002年よりエネルギー・環境教育支援として新たに小学校を主体に副教材の提供および体験型「出張授業」を始めました。



出張授業

全支店で合計30人の学校対応担当者が、冷熱実験、エコ・クッキング、天然ガス自動車など8テーマで出張授業を行っています。

ボランティア活動の支援

これらのコミュニケーション活動のほか、当社社員の社会の一員としての意識向上を目的として、ボランティアマインドの育成や活動支援をしています。会員組織「ボランティアネットワーク」を設立し、ボランティアに関する情報提供や支援、またボランティア休暇・休職制度を設けるなどのさまざまな支援を行っています。